



### 授業の土台

自己評価

- |   |   |         |
|---|---|---------|
| 1 | 児童生徒の実態を把握し、子供の視点に立って授業の準備をしている。                      | 4・3・2・1 |
| 2 | 共感的な人間関係の中で、一人一人が考えを出し合い、学び合うことができるような雰囲気づくりをしている。    | 4・3・2・1 |
| 3 | 児童生徒に寄り添った見届け、称賛、励ましなどを行い、 <b>自己肯定感</b> を高める支援を行っている。 | 4・3・2・1 |
| 4 | 主体的・対話的で深い学びのために、教材や教具を工夫している。(※ICT等の活用・各種アプリソフトの活用)  | 4・3・2・1 |

### 授業の基本形

- |    |  |         |
|----|--|---------|
| 5  | 学びへの <b>必要感</b> を高め、本時で何を学習するかが具体的に分かる「 <b>めあて</b> 」を提示している。 | 4・3・2・1 |
| 6  | 課題の解決方法や結果、作業手順、時間配分など、「 <b>見通し</b> 」を児童生徒にもたせている。           | 4・3・2・1 |
| 7  | 児童生徒が自分の考えをもつために、各教科の特質に応じた「 <b>言語活動</b> 」を取り入れた時間を設定している。   | 4・3・2・1 |
| 8  | 学習形態や学習計画などを工夫し、多様な考えに触れ、考えが深まる「 <b>学び合い</b> 」を設定している。       | 4・3・2・1 |
| 9  | 何を学んだのか整理し、めあてに正対した「 <b>まとめ</b> 」を行っている。                     | 4・3・2・1 |
| 10 | 「 <b>振り返り</b> 」を行い、学びの自覚や <b>達成感</b> 、次時への意欲付けなどをもたせている。     | 4・3・2・1 |



#### 【学級経営の視点】

- 教師としてのマナー  
(身だしなみ・言葉遣い・開始と終了の時間)
- 学習規律や基本的なルール  
(学習の準備・机上の整理・発言の仕方・話の聞き方)

#### 【指導技術の視点】

- 学習の流れが分かる板書の工夫
- 話し方の工夫 (言葉遣い・間・スピード・大きさ・抑揚)
- 学習のテンポ
- 指導と評価の一体化
- 教授と活動のバランス
- 個に応じた支援